

市報

とす

今号の内容

CONTENTS

蔵上・内精遺跡発掘調査報告…………… 2



市政功労者42人と1団体を表彰…………… 6

5月23日は花の日…………… 7

第11回春の芸能祭…………… 7

麻疹(はしか)予防接種…………… 7

5月16日は「鳥の日」行事…………… 13

河内ダム流域で警報訓練…………… 14



鳥栖市出身 権藤監督の記念碑が完成

横浜ベイスターズ・権藤博監督の記念碑が完成し4月16日、同監督を招き市民公園で除幕式などが行われました。昨年12月に行った記念講演の講演料を市少年野球連盟に寄付したお礼にと、同連盟が企画。関係者が見守る中、同監督の好きな言葉が刻まれた石碑が披露されました。

5

平成11年 No. 877

1日号



『蔵上・内精遺跡 調査報告』

蔵上、3000年の歴史をたどる

Ⅱ 縄文から中世、そして現代へ Ⅱ

安良川によってつくられた標高二十
〜三十mの養父扇状地に位置する蔵
上・内精遺跡は、鳥栖市のほぼ中央部、
蔵上町にあります。市教育委員会では
蔵上土地区画整理事業に伴い、平成七
年五月から平成十年十月にかけて、土
地区画整理事業地内の約八万八千m²を
対象に発掘調査を実施しました。

その結果、蔵上・内精遺跡は縄文時
代から中世にかけての幅広い時代の遺

跡であることが判明。中でも縄文時代
後・晩期、弥生時代後期から終末、古
墳時代後期、奈良・平安時代に特に栄
え、縄文から古墳時代にかけては集落
跡が、奈良・平安時代には養父郡家
(郡役所)に関係すると見られる倉庫
群が確認されました。

今号では時代を追って紹介します。
詳しくは教育委員会社会教育課(☎
3695)へ。



住居の向きがそろった弥生時代の集落跡

葦上の集落は 3千年前にあつた

葦上・内精遺跡に人の生活の跡が見始められるのは、今から約三千年前の縄文時代の後期後半ごろからです。この時代の人々は、現在の集落の北側で安良川沿いの日当たりの良い川辺のなだらかな所に集落を構えていました。ここからは、ほぼ同時期の竪穴住居跡十軒と五十基以上の土器棺墓を発掘しました。

住居跡は、地面を凹レンズ状に掘りくぼめ、円形の床面の中心に柱を一本立てるテント状のもの。住居内からは炉が見つからなかった



地面を円形に掘り込んだ縄文時代の住居跡

ことから、調理は屋外で行われていたようです。また、土器棺墓は乳幼児の墓と考えられ、当時は幼くして死んだ子どもを集落内に埋葬する習慣があつたようです。住居と土器棺墓の配置状況は集落内にくつつかのグループがあつたことを想像させます。

この集落の上部は、縄文時代の後期後半から晩期（約三千二百〜二千八百年前）の遺物が大量に入った土（遺物包含層）に覆われ、ここからは二万点以上の土器片や石器類が出土しました。縄文時代の一時期に限定できる集落と墓場がセットで確認されることは大変珍しく、北部九州地方でもこの時期の集落としては、かなりの規模と内容を誇っています。

縄文時代の 祈りとマツリ

縄文の集落跡からは、マツリ（祀り）などに使われたと思われる土偶や石棒、×字型石製品・土製品、土製や石製の円盤、糸巻き型石器など、今まで県内で出土した総数を超える大量の遺物が出土しました。

これらのうち、女性をイメージした土偶と男性をシンボル化した石棒は、縄文人の精神文化を象徴する代表的な遺物で、大地の再生と豊穡を祈る道具と思われる。土偶は完全な形で見つかることはほとんどありませんが、これは病気や災害の身代わりにわざと壊したからだと考えられています。また、大変珍しい超小型の岩偶（石製の人形）も見つかっています。

230戸の大集落 弥生の区画整理か

現在の集落の南側、ほぼ鳥栖駅平田線から陸上競技場の間に、弥生時代後期から終末（約千七百年前）の集落がありました。

集落跡は遺跡の南西の端に東西約100m、南北約300mの範囲に細長く分布し、集落を形成するのに都合のよい遺跡の中央部では、弥生時代の人が暮らした形跡は見つかっていません。この限られた範囲の中に住居跡二百三十軒以上の大集落を確認。さらに住居跡は多くが向きを北東から南西に向けて作られ、集落の作られた場所や住居跡の向きから、この集落は何らかの計画性をもってつくられたものと考えられます。弥生時代の区画整理といえるかもしれません。

住居跡は地面を掘りくぼめて作られた竪穴住居で、ほとんどが長方形です。ベッド状遺構とよばれる段のあるものや、住居を拡張したのか、張り出し部のあるものも数軒確認されました。また、高床で倉庫に使われたと思われる掘立柱の建物も五十二棟確認されています。さらに、何らかの宗教行事に使われたと思われる円形または方形に溝を巡らした周溝状遺構が九基、このほか朱入りの壺を埋めた土坑も見つかっています。

住居跡などからは大量の土器が出土。甕・壺・鉢などの日常使われた土器が大半ですが、熊本地方から運ばれた土器や豊前（北九州地方）、畿内（近畿地方）地方の影響を受

けた土器も出土しており、他の地方と交流があつたことをうかがえます。また、製作過程で変形して捨てられたと思われる土器が出土、この集落で土器の製作も行われていたと思われる。

弥生時代は、石器に代わり鉄器が使われ始める時代ですが、この集落からも鋤先や鉄鎌、鉄鍬、刀子など、農耕や戦に使われた鉄製品が出土しました。鉄器を持つ住居は一部に限られ、貧富の差があつたと考えられますが、これは中国の鏡をまねて作られた小形の青銅鏡が、一軒の住居跡からしか出土していないことからもうかがわれます。

この後、何があつたかは分かりませんが、この集落の人々は集団で移住したようで、この時期に続く集落は確認されていません。次の時代の集落が確認されるのは、古墳時代後期になってからのことです。



何軒も重なりあつた弥生時代の住居跡

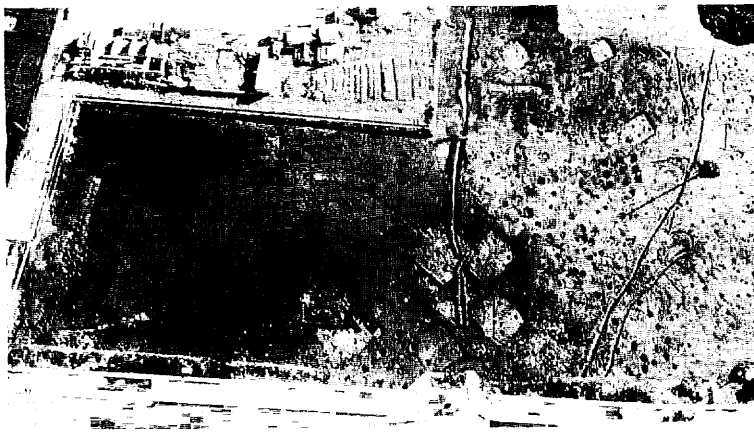


蔵上・内精遺跡現地説明会には多くの市民が訪れ、熱心に説明を聞きました（平成9年3月）

古墳時代の集落は 家屋が散在

古墳時代後期（約千四百年前）の蔵上では、再び集落がつけられ始めました。古墳時代の集落は縄文・弥生時代とは違い、一か所には密集せずに発掘調査を行ったほぼ全域で散在ぎみに確認されています。

古墳時代の集落からは、地面を掘りくぼめた堅穴住居跡が約百軒、約二十棟の掘立柱建物とよばれる高床の建物の跡が見つかっています。これらの建物跡からは、須恵器とよばれる硬く締まった灰色つばい土器や土師器と



古墳時代に再びつくられ始めた集落跡

呼ばれる赤茶けた素焼きの土器が出土。出土した土器の多くは壺や甕、皿などです。また、甑（セイロ）と呼ばれる調理具が数多く見つかっています。

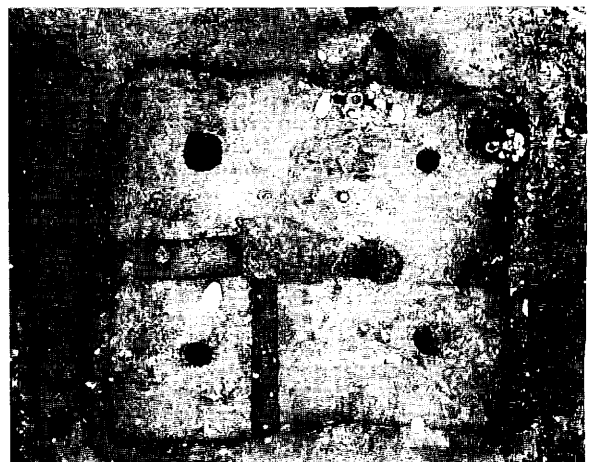
クドの神様と 生活の知恵

弥生時代までは住居の中央から炉跡（台所）が見つかることが多いのですが、古墳時代になると住居の壁ぎわにカマド（台所）を作ることになります。住居の材料は弥生時代と同じく燃えやすい材料のため、火事にならないよう、カマドは粘土で塗り固められています。また、頑丈な石組みのものもありました。カマドは、煙を排出するのに煙道（煙突）が使われています。火を閉じこめ火の道を作ることで、周りの物に燃え移らないような工夫がされたものです。

これらによって、日々の暮らしにも変化が生まりました。例えば、家の中が広く使えるように台所は壁ぎわに移され、また、カマドを使うことで火力のコントロールが可能になり、調理のメニューも多様化したものと考えられます。

蔵上で見つかった古墳時代の住居跡では多くが北西方向を向き、カマドはその北側か西側の壁ぎわにつくられています。北側に向けて台所を作ることで、食物を長持ちさせる効果があったようです。今でも台所を家の北側に作ることが多いようですが、これは昔から受け継がれた生活の知恵といえるでしょう。

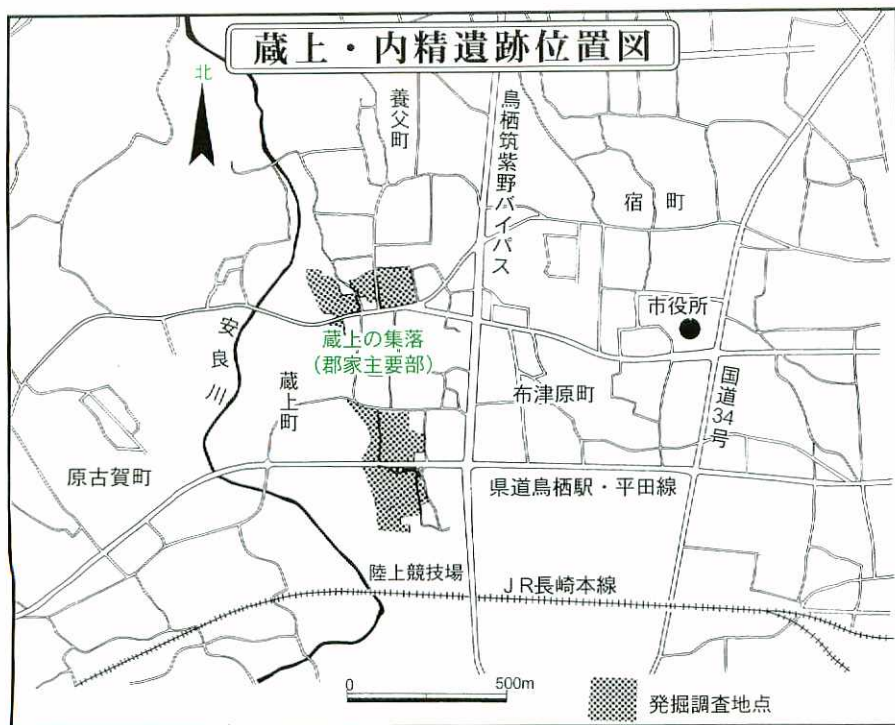
北側にカマドがある古墳時代の住居跡



台所にクドの神様（荒神さま）をまつている家がありますが、古墳時代の人たちも同じように火の神様のマツリをしていたようです。蔵上で見つかった住居跡の中に、カマドの中から完全な形の須恵器が、重なった状態で見つかったものがありました。これは住居を手放す際のカマドの神様のマツリの名残と思われる。

奈良・平安時代の 役所跡も発見

今から約千三百年前の奈良時代になると、国・郡・里の地方制度が整えられ、鳥栖市域では大木川を境にした西半分が養父郡になります。郡の中心である郡家（郡役所）の位置については、これまでも養父の集落か、蔵上



の集落付近と考えられてきましたが、今回の発掘調査で養父郡家に関連するとみられる遺構や遺物が見つかり、養父郡家の位置を確定することができました。全国的にも郡家の位置が特定できるのは七十か所ほどですので、大きな成果といえます。

郡家関連の遺構が確認されたのは集落の北側で、奈良から平安時代ごろの掘立柱建物跡約四十棟、柵列・区画溝が確認されました。掘立柱建物跡では、柱を埋めた穴（柱穴）が確認されています。柱穴は形の崩れた円形で多くは柱が引き抜かれていましたが、柱の直径は四十cm前後と考えられます。復元すれば、平屋建物と総柱式の高床の倉庫になると考えられます。建物の配置はあまり規則的とはいえませんが、建物の方向は南北と東西の二方向に大別できます。

また、遺跡の西端から全体で八十m近い長さの柵列（塀）が確認されています。この柵列の柱間は五十cm〜1m程度で、一部に重複が見られることから何度かつくり替えられたと思われる。当時、西側には安良川が流れていたと考えられ、この柵列は郡家関連施設の西の境と推察されます。これらの施設が確認された場所からは、「厨番」「小麦」

と書かれた墨書土器が出土していることから、郡家の厨（くりや）・役人の賄いや儀式・行事等の食事を用意する部署）を構成する倉庫や調理場などの施設である可能性があまりあります。

なお、郡家の中心である郡庁や館（郡司の公館）、厩（正倉（租税や財物の倉庫）は、現在の蔵上集落の下に眠っているものと思われ、集落内の地割りは方形に区画され、郡家主要部の施設が規則的に配置されている状況を彷彿とさせるものがあります。

また、朝日山は、緊急の連絡用に作られた古代養父郡の「烽（のろし台）」と考えられています。

蔵上の集落は郡家跡が土台に

中世（鎌倉時代から戦国時代）以降の生活の痕跡は今回の調査では、多くは見つかっていません。これは人々の生活の中心が郡家の中心施設の跡、つまり現在の集落に移ってしまったためと思われる。このことは天文二十二年（一五三三）の紀年銘がある蔵上の「六地藏」からも考えられます。蔵上の集落は、古代の郡家跡を土台として形づくられ現在まで続く大変歴史の古い集落なのです。

この発掘調査で、現在の蔵上の集落ができるまでに、どんな歴史をたどってきたかが分かりました。

縄文時代に人が住み始め、弥生時代にはきちんと区画された集落が作られ、古墳時代に

養父郡家の主要部が眠る蔵上の集落は、方形に区画された地割りが残っています

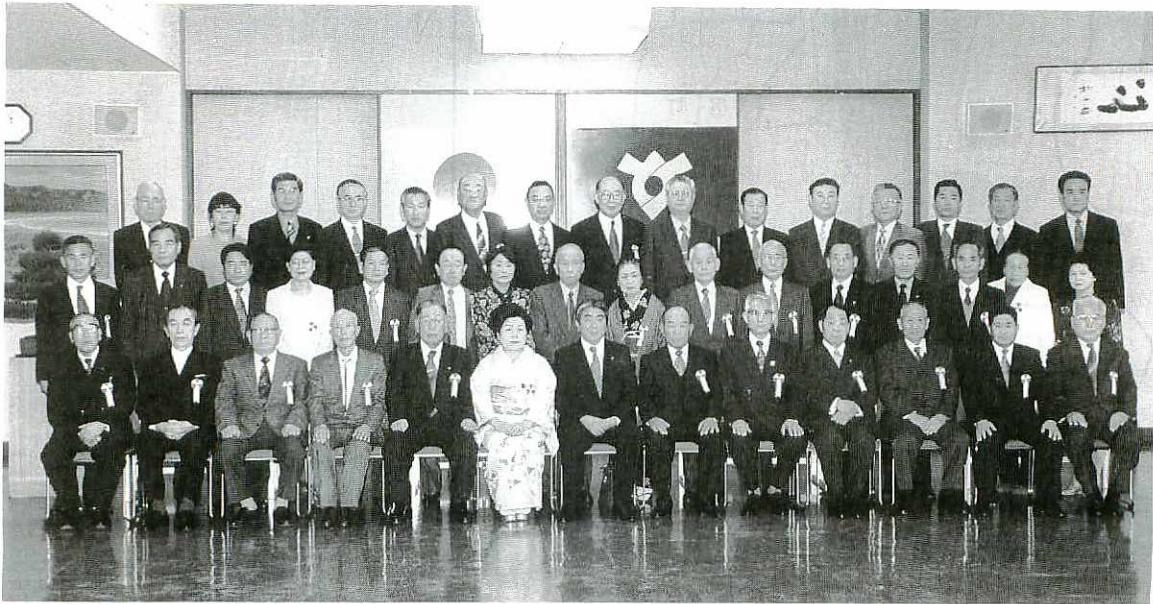


は現在の蔵上の集落より広い範囲で集落が確認されます。弥生・古墳時代にはかなり多くの人が、ここで暮らしていたことでしょう。

奈良時代には郡の役所が置かれ、平安時代にかけては養父郡の中心地になります。鎌倉時代ごろには、郡の役所はなくなりますが、この跡に現在まで続く蔵上の集落がつくられます。このように長い歴史を経て、蔵上の集落は形づくられ、現在まで続いてきました。

蔵上・内精遺跡のように、縄文時代から現在の集落の形成過程まで考えられるような遺跡は大変珍しく、また古代、郡の政治の中心である郡家の位置を確認できたことなどは大きな成果でした。

市政功労者42人1団体を表彰



被表彰者のみなさん

平成十一年の市政功労者表彰式が四月一日、市役所三階大会議室で行われ、市政運営や文化振興、民生の安定など八分野で献身的な努力をされ、功績が顕著な四十二人と一団体を表彰しました。

式典では、牟田市長が一人ひとりに表彰状と記念品を贈って功績をたたえ、その労をねぎらいました。

被表彰者は、次のみなさんです（敬称略）。

【市政の運営に貢献】藤井良雄（59歳、神辺町、市議会議員）▽久保山博（70歳、原町、市嘱託員）▽大塚久實（70歳、元町、同）▽西村増喜（69歳、原古賀町、同）▽高尾忠治（68歳、萱方町、同）▽村上重義（65歳、宿町、同）▽天本義人（73歳、牛原町、農業委員）▽有吉攝（66歳、宿町、国保運営協議会委員）▽松尾博之（60歳、佐賀市高木瀬東、同）▽堤靖之（57歳、本町、同）

【教育、学術、技芸、体育など文化の振興に貢献】北村満子（79歳、田代上町、市文化連盟理事）▽吉村真（75歳、

神辺町、同連盟役員）▽城戸喜恵子（66歳、萱方町、同）▽古川昭義（59歳、原古賀町、市少年野球連盟理事）▽立山正敏（55歳、藤木町、同）▽寺崎智（55歳、村田町、同）

【産業の開発振興に貢献】重松仁治（64歳、原町、土地改良区理事）▽古賀三郎（80歳、本通町、商工会議所議員）▽平井幹敏（69歳、元町、同）▽江喜春美（63歳、西田町、同）▽本岡信義（63歳、古野町、同）▽原口雅治（55歳、下野町、同）

【民生の安定に貢献】古川正年（75歳、曾根崎町、民生

委員・児童委員）▽城本忠美（74歳、田代大官町、同）▽西田忍（72歳、儀徳町、同）▽平山昭男（72歳、神辺町、同）▽岡本幸代（69歳、藤木町、同）▽福山博芳（68歳、本鳥栖町、同）▽杉野利治（64歳、安楽寺町、同）▽木下雅子（62歳、西新町、同）

【保健衛生に貢献】村山喜美子（63歳、河内町、市食生活改善推進員）▽（社）鳥栖三養基医師会（幸津町、代表松岡正二）▽荒木靖生（67歳、神辺町、学校医）▽畠田芳雄（52歳、大正町、学校歯科医）

【納税等に貢献】梅野熊夫（84歳、田代大官町、納税組合長）▽山本禮次郎（70歳、古賀町、同）

【治安の維持、人命救助、水災等の防護に貢献】久保山茂宣（53歳、原町、市消防団幹部）▽永淵守（47歳、平田町、同）

【奇特な行為があり、又は篤行にして市民の模範とするにたる者】成松多津雄（79歳、桜ヶ丘町）▽山本穆（79歳、今泉町）▽松隈三郎（74歳、今泉町）▽寺崎正（72歳、神辺町）▽徳測春男（49歳、真木町）

5月23日(日)『花の日』花いっぱいのご参加を



昨年の「花の日」の行事から

第十一回「花の日」の催しを五月二十三日(日)午前十時から午後一時まで、市役所で開き、花模様案やフラワリーアーチ、フラワーオブジェなどで会場を花いっばいに彩

ります。

午前十時からの式典では、小中学生から募集した花の絵コンクールと花壇コンクールの入賞者を表彰した後、フラワールアレンジメント・コンテナガーデン教室、花の写真展、さつき展、押し花教室、花のスケッチ大会など多彩な催し物を行います。スケッチ大会に参加ご希望の方は、当日会場で申し込んでください（画用紙は配布、道具は持参）。

毎回好評の菊苗（鳥栖菊花会提供）と花苗、草花種子の

無料配布を行うほか、鳥栖菊花会では、当日午前十時から市役所北別館女子教養室で菊づくり講習会を開きます。

また、四月一日から五月三十一日までは緑の募金月間です。会場で鳥栖市緑の少年団が募金活動を行いますので、ご協力をお願いします。

なお、花の絵と花壇、両コンクールの入賞作品を五月二十四日から同二十八日まで、写真展・スケッチ大会の作品を五月三十一日から六月四日まで、それぞれ市民コーナーで展示します。詳しくは都市計画課公園緑化係（☎853603）へ。

地域振興券 交付申請はお早めに

鳥栖市では地域振興券の申請を受け付け、即日交付をしています。

交付対象者で、まだ地域振興券を受け取られていない方は、早めに交付申請の手続きをしてください。

とき●月曜日から金曜日（祝祭日は除く）、午前八時半～午後五時十五分

主●市民課窓口▽高齢者などの交付対象者●福祉事務所 問い合わせ●15歳以下児童の



片田勝美さん

交通安全指導員を委嘱

世帯主●企画課（☎353512）▽高齢者などの交付対象者●福祉事務所（☎3554）

夢 第11回春の芸能祭

5月16日(日) 午前10時

鳥栖市文化連盟では「夢」をテーマに、舞台部門各団体の日ごろの練習や活動の成果を発表する「第十一回春の芸能祭」を開きます。入場料（小学生以上）は前売り千円、当日千二百円。チケットは市民文化会館でお買い求めくだ

さい。とき●五月十六日(日) 午前十時開演
ところ●市民文化会館ホール
内容●「夢」をテーマにした謡曲、日舞、民舞、吟詠、民謡、邦楽、ダンス、音楽の公演



特別企画●先着五百人プレゼント、ラッキー抽選会、芸能祭ギャラリー 問い合わせ●市文化連盟事務局（市民文化会館内 ☎3645）

嘱託員の交代

四月一日付で嘱託員の交代がありました。新嘱託員は、交通安全指導員は、市内六地区五十四人(定員は六十人)が市から委嘱を受け、園児や児童の登校時の街頭指導や交通安全教室への協力など、市民への交通安全思想の普及、交通事故防止のため活動しています。

次のとおりです(敬称略)。
▽轟木町●北村徹(☎5733)▽今泉町●篠原寛(☎3583)▽鉄道寮●平川茂(☎2064)▽田代大官町●古賀實政(☎4771)▽神辺町●岡本久榮(☎6056)▽河内町●牟田忠儀(☎2917)▽酒井西町●原山英治(☎0020)▽酒井東町●松雪生夫(☎1197)▽幡崎町●鳥飼治男(☎5230)▽松原町●

平川克彦(☎4702)▽養父町●竹野秀利(☎6086)▽牛原町●大塚壽人(☎5276)▽原古賀町住宅●鶴熊雄(☎4138)▽前田町●栗原誠(☎9927)▽幸津町●豊増博美(☎8593)

市報「パパ撮って」掲載写真を募集

若いお父さんやお母さんに好評の本誌「パパ撮って」欄に掲載予定の赤ちゃんの写真を募集します。

掲載ご希望の方は、赤ちゃん(おおむね三歳未満)の写真(EまたはLサイズ)に赤ちゃんの名前(ふりがな)、両親の氏名、住所、電話番号、パパまたはママから赤ちゃんに対する簡単なメッセージ(二十文字以内)を添えて、市役所企画課広報統計係(宿町一一八番地 ☎3513)へ郵送または直接ご持参ください。受け付け順に掲載

麻しん(はしか)予防接種

麻しん(はしか)予防接種を次の要領で実施します。
◎対象=1歳以上7歳6か月未満の幼児
◎実施期間=6月1日(火)~同30日(水)
◎接種料金=無料
◎申し込み=5月24日(月)までに直接、下記の医療機関へお申し込みください
◎注意=①すでに、はしかにかかったことがある人と麻しん(はしか)の予防接種が済んでいる人は受けられません ②人によっては、接種後1週間ぐらいで発熱、発しんといった麻しん症状が出る場合があります

医療機関	所在地	電話	実施曜日	実施時間
有吉医院	宿町	☎3526	月～金曜日	14:00～16:00
石田医院	古賀町	☎2722		15:00～17:00
名取医院	儀徳町	☎8008		14:00～17:00
はらだ内科胃腸科	鎗田町	☎1515		14:30～16:30
野下医院	曾根崎町	☎2082		9:00～12:00
今村病院	轟木町	☎5550		14:00～15:00
権藤医院	田代上町	☎2978		16:00～18:00
前山医院	宿町	☎0005		12:00～13:00
宮崎医院	東町	☎2083		13:00～16:00
すがい小児科	神辺町	☎7020		15:00～17:00
武田内科	村田町	☎1011	火曜日	15:00～16:30
古賀内科医院	宿町	☎3204	火・木曜日	13:00～14:00
すぎやま内科胃腸科	神辺町	☎7785	水曜日	14:00～15:30
ひよし小児科	宿町	☎2677	月・火・水・金曜日	10:00～12:00
古賀医院	原古賀町	☎3457	火・水・木曜日	14:00～16:00
玄々堂内科	曾根崎町	☎2151	火・水・木曜日	14:00～15:00
斎藤内科医院	東町	☎2016	火・水・木曜日	14:00～16:00
高尾医院	京町	☎2328	火曜日	9:00～12:00
三輪堂医院	元町	☎2281	水曜日	14:00～18:00
むらかみ小児科	古野町	☎2450	金曜日	9:00～12:00
じゅんせんせいのこども総合クリニック	下野町	☎2333	土曜日	9:00～12:00



浄水場内に完成した最新の排水処理施設

浄水場 排水処理施設が完成 機械化で汚泥処理の効率アップ

浄水過程で発生する汚泥を効率的に処理する排水処理施設の落成式が四月十四日、牟田市長や工事関係者など約五十人が出席して、原古賀町の浄水場で行われました。式典で牟田市長は「施設の

祝いました。従来の汚泥処理は天日乾燥で、処理に二、三か月程度かかっていたため、北部丘陵や蔵上土地区画などの大型事業や住宅建設による水需要の増加に対応しようと、最新の処理施設を建設していたものです。新施設は、汚泥を機械的に長時間加圧脱水して汚泥ケーキと処理水に分離。

ケーキは埋め立て処分し、処理水は返送して再利用します。鉄筋コンクリート三階建て、延べ床面積約六百平方メートルの機械棟に加圧搾脱水機などを設置。埋立処分場不足や環境問題に対応するため、汚泥を農地に還元する計画もあります。総事業費は約八億四千万円。

弓道 初心者教室 基本をみっちり

市弓道連盟が主催する初心者弓道教室が四月三日、市民弓道場で開かれ、中学生から五十歳代までの男女十数人が

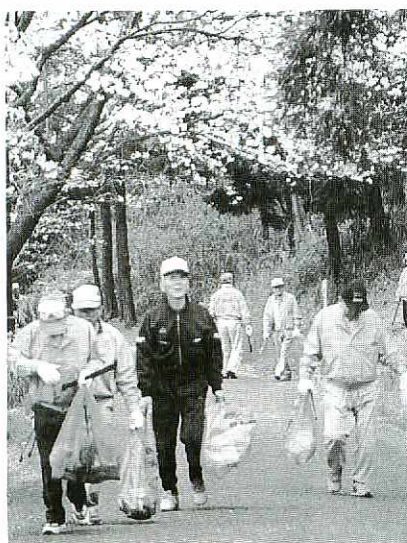
参加しました。教室は毎年四月に行われ、今年で十二回目。開講式で中島政明会長は「弓道は表面は

かりでなく、体が覚え動いていくものです。わからないことはスタッフにどんどん聞いて、みんなと一緒に早く弓を引けるようになってください」とあいさつしました。練習の初日にあたるこの日は、まず「射法八節」といわれる弓道の基本形や道具の説明を受けた後、参加者は講師の動きを見ながら構えから弓を射るまでの基本動作などを約二時間、繰り返し練習しました。参加した高木聖太くん（田代中二年）は「何か運動をしたいと思って参加しました。体を構える練習で疲れたけれ

ど、弓道が続けてみたいと思います」と話します。弓道教室は六月二十六日まで、毎週土曜日に行われる予定です、実際に弓を引き射る段階まで進みます。



両手を広げて弓の基本を反復



桜の下、両手にごみ袋を下げて、散乱したごみを収集するシルバー人材センター会員

収集ごみは軽トラクレーン台分 朝日山の清掃奉仕

シルバー人材センターの会員が四月五日、花見などでごみが散乱した朝日山を清掃しました。同センターは、高齢者の生きがい対策を目的に、個人や事業所などからさまざまな仕

の六十代から八十代までの会員約百人。火ばさみとごみ袋を持って山頂から麓まで、山道や斜面などに散らかったごみを、燃えるものと燃えないものに分けて拾いました。約一時間で集まったごみは、弁当がらや空き缶、衣類など軽トラクレーン一台分。同センターの筆耕班で活動する江島貞夫さん（67歳、田

代外町）は「人目につきにくいところに、たくさんごみが落ちていました。みんながマナーを守ってきれいにすれば、花も喜ぶでしょう」と話しました。この日は穏やかな天気は恵まれ、清掃を終えた会員は桜の下で弁当を広げながら親睦を深めていました。

日本プロスポーツ大賞新人賞

下條騎手(佐賀競馬場)が受賞報告

このほど日本プロスポーツ大賞・地方競馬部門新人賞に輝いた佐賀競馬場の下條知之騎手(19歳)が三月二十一日、市役所を訪れ、牟田市長に受賞の報告をしました。

プロスポーツ大賞は、(財)日本プロスポーツ協会がプロスポーツ界で活躍する選手に贈るもので、平成十年度は下條騎手のほか、横浜ベイスターズの佐々木浩投手やサッカーの中田英寿選手、中央競馬の武豊

騎手らが受賞。佐賀競馬場からは、初の受賞です。下條さんは鳥栖西中を卒業後、調教師に勧められて栃木県地方競馬学校に入学。平成九年四月に佐賀競馬場所属の騎手としてデビューしました。同年に全日本新人王争覇戦(高知)で優勝したほか、二年目の昨年はプロ通算百勝を挙げるなど大活躍。今年一月にはマカオのタイパ競馬場

で開かれた「第七回マカオ見習騎手招待競争」にも招かれ、ボウル競争(芝千五百m)に出走、アジア各国の若手騎手と腕を競いました。プロの世界は厳しく、早朝三時には起床して馬を調教し、五十キロ台前半の体重を維持しなければならぬといえます。牟田市長は「これからも健康に注意してがんばってください」と激励。いまだ

に受賞の実感がわかないという下條さんは「馬主、調教師、厩務員、競馬ファンのみならず、

んのおかげです。今後はもっと良い成績を挙げたい」と語りました。日本プロスポーツ大賞新人賞を受賞の受賞の報告を下條さん



日本プロスポーツ大賞新人賞を受賞の報告を下條さん



大勢詰めかけた市民で賑わう地域振興券の交付窓口(市役所市民ホール)

地域振興券の交付を開始

初日は、市役所窓口にて五千四百人

個人消費を呼び起こし地域経済を活性化しようと、地域振興券(商品券)の交付が三月二十七日から市役所で始まりました。

交付初日には定刻前から多くの市民が市民ホールに詰め

かけ、午前九時に交付を開始。早速、牟田市長から高田正俊さん(73歳、古賀町)に市内で最初の振興券が手渡されました。

混雑を解消するため、市民ホールには十五歳以下と六十

五歳以上を対象とした二つの窓口を設置。窓口には長蛇の列ができ、市職員は引換券を受け取っては身分証明書などで本人を確認しながら交付をしていました。

地域振興券は千円券が二十枚綴りになった商品券で、取扱店のステッカーとポスターが貼られた市内約千の事業所で利用できます。

引き替えに訪れ

た六十八歳の女性は「孫三人にプレゼントを買いたい」、四十歳の男性は「高校に入学する子どものために、自転車を買います」と言いながら、顔をほころべていました。

なお、初日だけで対象者約一万五千二百人の三五・六%に当たる五千四百十三人が、振興券の交付を受けました。

曾根崎の獅子舞

躍動感あふれる演舞を披露

市重要無形民俗文化財の曾根崎町獅子舞などを披露する「曾根崎町芸能祭」が三月二十八日、同町の老松宮などで開かれました。

老松神社では、まず曾根崎

町婦人会と子どもクラブのメンバー約三十人が「曾根崎音頭」を披露。道ばやしでは、そろいの衣装をつけた二歳から小学六年生までの児童約六十人が、扇子を片手に踊りな

がら境内を一周しました。

獅子舞は、小学生二人が演じる獅子つりの言い立てで始まり、獅子つりの動きに探られるように一頭ずつ演舞。次第に速くなる太鼓や鉦のテンポに合わせて、雄雌二頭の獅子は息の合った力強い舞を披露しました。

五十分にも及ぶ熱のこもつ

た演技に、会場に詰めかけた約二百人からは大きな拍手が送られました。

また、農協基里支所前でも獅子舞が披露されたほか、同支所職員によるもちまきや地元産の新鮮なキャベツ、白菜などが並ぶ朝市も開かれ、多くの人出で賑わいました。

曾根崎の獅子舞は、江戸時

代から伝わる老松神社の神幸祭。戦後一時中断していましたが、十六年前に復活。土地の悪霊を払い豊作を祈願する祭りで、毎年三月末の日曜日に開かれていま



雌雄二頭の獅子が同時に舞い出すと、会場は熱気に包まれました

高校演劇を指導して30年

榎原俊昭さん(62歳、元町)

「観客に感動を与え、心に訴える作品づくりを目指してきました」

国語を教える傍ら、鳥栖高と鳥栖商高で演劇を指導して

三十年。定年後も講師として勤めながら教え子の演劇を見守り続けてきました。

鳥栖高に赴任した三十一歳のとき、演劇部顧問を引き受



けたのが演劇との出会い。昭和五十七年から今春まで勤めた鳥栖商高で本格的に演劇を指導し、佐賀県高校演劇コンクールでは、最優秀賞八回を含む十五回の入賞を果たしています。

た「アメドリの帰る日」。昭和六十年、作品づくりのため生徒と水俣へ出かけ、水俣病患者の施設に宿泊。患者の生の声を聞くとともに練習を披露しました。「帰ってからは、生徒がガラリと変わりました。やらされるのではなく、自分から演じようという姿勢が見えてきました」

あんひと こんひと

⑧

高校演劇の傍ら、鳥栖市民劇団では演出を担当。「鳥栖鉄道物語」の再演に向け、これから本格的な稽古が始まります。

「県内や九州の高校生の優れた舞台を見た回数うちに、演劇が少しずつ分かってきました」。コンクールでは既成の作品を上

演することもありますが、「いじめ」や「進路」「鳥栖商デパート」など、学校の身近な問題や環境問題では、独自の脚本も書いてきました。数多い作品の中で一番の思

いは、水俣病をテーマにした

「苦しいことが多ければ、喜びも大きい。これから少しずつ演劇にかかわっていきたいと思います」

農業

新時代

◁96▷

「家族全員で家族経営協定を締結。役割分担の明確化で、ゆとりを実感」

下野町の久富俊男さん(42歳)一家は、ゆとりある農家生活を実現しようと昨年二月三日、家族全員で「家族経営協定」を結びました。

これは若者や女性が農業に誇りを持ち、魅力ある農業・

農村を築いてもらおうと、平成九年度から佐賀県が呼びかけたもの。経営目標や役割分担、休日などの就業条件を書面で明らかにし、簿記の記帳などを通して生活設計についても話し合い、一人ひとりを



経営協定を結んだ久富さんの家族

大切にしたい家族経営を図るもので、現在、市内では久富さん

の家族を含め七組が協定を

結んでいます。「役割分担と個人の報酬を明確にしたことで、自分の時間ができて気持ちにゆとりがでてきました。また、家族の仕事に対するやる気も大きく変わりました」と久富さんは話します。

協定では、午前七時から午後五時までの労働時間に休憩を午前と午後に分けてつとめることや、家事も労働時間

中後所 まさぶ

建設部建設課土木係

今村 真一



土木係では、道路・河川・橋梁などの設計・工事監督や道路維持、災害復旧などを担当しています。特に台風・大雨による災害時には、直ちに現場に駆けつけ二次災害を防止し、早期に復旧することを心がけています。市民のみなさんが安全で、快適に生活できるように環境づくりを目指して頑張ります。

天^{てん}真^{しん} ①

「人類の役割」

もう十年近くも前になるが、或る僧侶と話をしているときのことである。私にこう言った。「今のまま、地球を人間のために使い過ぎていたら、人類は全て地球上から消えていくのではないだろうか」とのことであった。突然だったので、この人何を言っているのかと思った。この時は、世相のことや趣味など雑談であったので、先程のよ

うなことを言うので意味を尋ねてみた。すると「神が人間に智慧を与えたのは、この地球が秩序を保ち少しでも長く維持するために、或る生きもの即ち人間、われわれに智慧を与えたのであるが、人類が地球に存在して以来、この地球を人類のためだけというほど使い、今日に至っている。本当に神や仏がそう思ったら、人類の全滅など簡単なも

のだ。人類が減亡する病をつくればよいだけだ」と話したのである。私はなるほどと思った。科学とは自然への挑戦であり、それが社会の発展を大きく進歩させたのも事実であり、近代社会の実現を得たのである。われわれは僧侶の話のように、いま再び自然と真正面から向かい合い、人間も自然界に生きる一つの生きものである

り、この掛け替えのない地球の秩序維持の役割が第一であり、人間の使命であると考えるとき、これまでの人の生き方を自問自答、自戒しなければならぬと思う。環境の破壊は全ての生態系を根本的に変える。また科学の進歩と力によって自然な生き方と摂理とは背を向けて歩いてきたのではなからうか。人間の英智こそは地球の維持

するすべての生きるものへの心くばりであってほしい、と神仏は願っているのではなからうか。発展、進歩を止めることは出来ない。しかし宇宙や地球の摂理、自然の生態系を無視した生き方、驕りに対しては、深く反省していくことを今われわれは真剣に考えなければなるまい。この地球のために、人類のために。(牟田秀敏)

三十二チームが参加して三月七日から開かれた第四十八回鳥栖市少年野球春季大会は同二十二日、市民球場で準決勝と決勝が行われ、曾根崎町Aが前回大会に続き優勝、二連覇を果たしました。決勝戦は、中央区を5-0で破った元町と田代本町を4-2で下した曾根崎町Aが対戦。二回表、元町は久保田君が出塁すると、すかさず二盗

曾根崎町の黒田稔監督(44歳)は「昨秋の優勝からけが人もなく順調に調

4回裏の好機を生かし、2連覇した曾根崎町Aチーム



Viva!ビバ スポーツ[®]

少年野球春季大会 曾根崎町Aが2連覇

広尾君が死球で出塁後、池田君や河原君の安打で二点をあげて先行了しました。四回裏、曾根崎町は二死後、先頭打者が四球で出塁、次打者執行君の適時打でまず一点。死球の後、日山君が三塁強襲安打で

整ってきた。投手がよく投げたし、四回の好機が勝利につながった」と振り返り、「練習によく耐えた。優勝を忘れず、中学生になっても野球を続けてほしい」と、六年生へはなむけの言葉を贈りました。

鳥栖店は昭和六十一年十一月、古賀町に設立。自動車用品の販売のほか車の修理、点検を行っております。私は今年四月入社。オイル・タイヤ交換の受け付けやレジを担当。入社したばかりで商品知識がないので、早くお客様の質問に答えられるようになります。

車の免許を三月に取得、福岡市百道や長崎市へドライブに行くのを今から楽しみにしています。休日は実家の菓子店の手伝いや料理をして過ごしていますが、料理では鶏の空揚げやかぼちゃのスープが得意です。鳥栖の商店街はイベントなどで昔の活気を取り戻してほしいですね。



(株)佐賀イエローハット鳥栖店勤務

有馬さやかさん
(18歳、東町)

福祉

紙おむつを支給します

市では今年度から、介護者の負担軽減などを目的に、重度障害者などで一定の条件を満たしている人に、紙おむつを支給します。申し込み方法など詳しくは福祉事務所社会係（☎3552）へ。

支給対象●次の条件をすべて満たしている人①身体障害者手帳の1・2級または療育手帳Aをもっている②在宅で常時、紙おむつを使用している

③満三歳以上六十五歳未満④所得税が非課税の世帯

市社協会員と赤十字社員にご協力を

市社会福祉協議会では、ボランティア活動の支援やホームヘルプサービスなどの地域福祉活動を行っています。

また、日本赤十字社は災害被災者の救護をはじめ、医療活動や血液事業、看護婦の養成など、私たちの身近なところで活動しています。

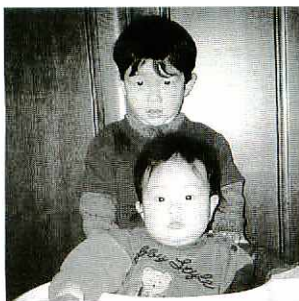
今年も各町区の区長さんを通じて、市社協の会費を一般会員（一世帯当たり二百五十円）と特別会員（一口千円、何口でも可）をお願いしています。また、日赤社員（二百五十円）と日赤特別社員（一万円以上）も募集しています。詳しくは市社会福祉協議会（☎3555）へ。

介護・健康教室参加者募集

真心の園・鳥栖市中央デイサービスセンターでは、介護・健康教室を開きます。参加無料。

とき●五月二十三日（日）午前十時～正午
ところ●真心の園デイサービスセンター（平田町）
内容●介護体験発表・意見

パパ撮っし⁽¹⁴⁵⁾



小細工義英さん紀代美さんの長男・2男

かつや ゆうごう
勝哉くん・雄剛くん
(2歳・11か月、本鳥栖町)
●パパからひと言
早くパパと一緒に野球をしよう

生活環境

轟木川の清掃にご参加を

市と公害防止連絡協議会は、清潔で住みよいまちの実現を目指して、地域住民の方などと一緒には轟木川の清掃を毎年行っています。市民のみならずも多数ご参加ください。

とき●五月十六日（日）午前八時四十分（雨天の場合は中止）
ところ●市役所前広場集合

内容●船底橋（宿町・船底神社横）から土穴橋（鳥栖工高横）までの空き缶、ビン、木くずなどゴミの回収（道具は準備しますが、川の中に入れる服装でご参加ください。なお、小学校三年生までは保護者同伴で参加してください）

ださい）
問い合わせ●生活環境課公害交通係（☎3577）

催し

県民芸術文化劇場

モントリオール交響楽団
国際的なオーケストラ「モントリオール交響楽団」と世界で活躍するシャルル・デュトワを指揮者に招き、演奏会を開きます。詳しくは県民生活課（☎0952257340）へ。

とき●七月三日（土）午後六時半開演
ところ●佐賀市文化会館

曲目●交響詩「フインランディア」、スペイン狂詩曲、組曲「展覧会の絵」ほか
入場料●指定席三千円、自由席二千円。チケットは五月十六日から鳥栖市民文化会館ほかで発売します

保健

健康体操初心者コース

呼吸法を用いた自律神経調整効果のある健康体操初心者コースを開きます。肩こり、

腰痛、冷え症、不眠などでお悩みの方はぜひおいでください。参加無料。

とき●五月十八日（火）から六月十八日（金）までの毎週火曜日と金曜日（計十回）、時間はいずれも午前十時～十一時半
ところ●保健センター

スポーツ

ウォーキング教室

教育委員会では一般市民を対象に、講義や実践指導を行ううさわやかウォーキング教室を開きます。参加無料。

足腰を強くし、肥満や成人病予防に効果のあるウォーキング。体に負担をかけない正しい歩き方を指導します。

とき●五月十八日（火）・同二十一日（金）・同二十五日（火）・同二十八日（金）・六月一日（火）午後六時受け付け、同六時半開始（二時間半程度）

ところ●市陸上競技場
持ってくるもの●タオル、万

歩計
申し込み●直接または電話で、同委員会社会体育課（☎3522）へ

ハイキング（軽登山）参加者を募集

■扇ヶ鼻（九重）「新緑・ミヤマキリシマ」
とき●五月三十日（日）午前六時半
ところ●市役所玄関前集合

参加料●四千元（バス、保険資料代含む）
定員●五十人
持ってくるもの●弁当、水筒、雨具、タオル、着替えなど

申し込み●五月二十一日までに参加料を添えて、教育委員会社会体育課（☎3522）へ

第16回全国一斉ウォークラリー大会

家族や気の合う仲間とウォークラリー。健康づくりを兼ねて、鳥栖の自然や町並みを再発見してみませんか。

とき●五月十六日（日）午前八時半受け付け、同十時全国一斉スタート
ところ●市陸上競技場集合

参加料●無料
申し込み●三～五人でチームを編成し、教育委員会社会体育課（☎3522）へ。

ご存じですか

旧ユーゴスラビア難民 救援金受け付け中

北大西洋条約機構によるユーゴスラビア連邦共和国への空爆に伴い、コンボ自治州から多数の難民・避難民が隣国に流出し危機的な状況になっています。その救済のため、日本赤十字社では救援金の受け付けをします。市民のみなさんのご協力をお願いしま

当日、会場でも受け付け可
す。詳しくは市社会福祉協議会(☎3555)へ。
受付口座 郵便局 001101215606日本赤十字社▽佐賀銀行呉服町支店Ⅱ(普) 5033294日本赤十字社佐賀県支部長・井本勇(手数料はいずれも無料。通信欄に「旧ユーゴスラビア救援金」と記入してください)

5月31日までに 自動車税の納付は

自動車税の納期限は、五月三十一日です。忘れず納期内に納めてください。納税通知書は五月十一日ごろ郵送しま

す。口座振替の方は、残高不足にご注意ください。
なお、自動車税納税通知書の右片は、車検に必要な「納税証明書」ですので、大切に保管してください。口座振替の方には後日、領収証書(納税証明書)を送付します。
詳しくは佐賀県税務所(☎09523316)へ。

春の交通安全県民運動

五月十一日から二十日までは交通安全県民運動期間です。市と市交通対策協議会では期間中、次の活動に取り組みます。詳しくは同協議会事務

務局(生活環境課公害交通係内☎3577)へ。
■黄色い羽根配布
とき 五月十一日(火) 午前七時半
■駐輪の指導とチラシ配布
とき 五月十二日(水)・十三日(木)の二日間、午前七時~同八時
■シートベルト着用推進運動
とき 五月十三日(木) 午後二時
■交通安全旗市町村リレー伝達式
とき 五月十四日(金) 午前九時半

国土地の一般競争入札

福岡財務支局佐賀財務事務所では、国有財産を一般競争入札(期間入札)で売り払います。詳しくは同事務所管財課(佐賀市駅前中央三三三二〇佐賀第二合同庁舎☎09527161)へ。
物件 鳥栖市原古賀町字三本松八四八番二ほか 土地三〇八・九六平方m
入札方法 期間入札
入札受け付け 五月十八日(火) から同二十七日(木)

まで
開 札 六月一日、同事務所
同人誌『柵の木』を発行
鳥栖の同人雑誌『柵の木』二十二号が発行されました。エッセーに「ひたむきな人間像を描く山本周五郎作品(田中康信)」、「日本国は九州から始まった」(小田綱雄)など六編、詩二編、小説は「夢違(緒方功)」、「口伝の終わり」(宮脇永子)、「鉄道のためにならず」(篠原真)など五編を掲載。A5判百四十二ページ、定価六百元(税込み)。酒屋書店各店で販売しますが、品切れのときは直接発行所・篠原(☎2653)へ。

中退共制度で 退職金づくりは

中小企業で退職金制度を設けたい場合は、国の「中退共制度」を利用すれば、安全・確実・有利な制度が手軽に作れます。この制度に新しく加入した企業には、掛金の三分の一を二年間、国が助成します。また、途中で掛金を増額した場合も、増額分の三分の一を二年間、国が助成します。詳しくは県労政能力開発課(☎09527100)または佐賀労働基準局(☎0

9527155)へ。
鯉のぼりは電線にふれないところで
鯉のぼりをあげるときは、電線から十分に離れたところにポールを立て、電線にふれないよう注意しましょう。
もし電線にかかった場合は、危険ですから自分で取らずに、すぐ九州電力鳥栖営業所(秋葉町☎2194)へ連絡してください。

募集

花の写真展作品

市では五月二十三日(日)に開く「花の日」の行事の一つとして、花の写真を募集します。身近に咲く花や緑の美しさを撮影して、どしどし応募ください。
規格 カラープリント四つ切サイズ(組写真は除く)
応募方法 作品の裏に撮影場所、年月日(撮影後一年以内に限る)、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、五月十二日までに都市計画課(☎3603)へご持参ください。その他 応募は一人二点まで、先着三十点で締め切り

第11回「鳥の日」行事

5月16日(日)午前10時
第十一回「鳥の日」行事を
五月十六日(日)、サンメツ
セ鳥栖三階大会議室で開きま
す。
午前十時から行う式典で
は、小中学生から募集した
「鳥の日」書道コンクールと
愛鳥週間ポスターコンクール



親子で挑戦する鳥の巣箱づくり

また、五月十一日から同十六日までの愛鳥週間中、書道とポスターの入賞作品をサンメツセ鳥栖一階フロアに展示し、市内で見られる野鳥の写真約三十点を、市役所市民コーナーに展示しますのでご覧ください。
詳しくは農林課林務畜産係(☎3564)へ

■太極拳・医療体操教室 生徒募集

桜町教室は火曜日午前10時～同11時。外町教室は水曜日午後7時15分～同8時15分。鳥栖教室は土曜日午前10時～同11時。詳しくは鳥栖市太極拳協会（☎36094）へ。

■鳥栖市夏季ソフトボール大会代表者会議

5月15日（土）午後5時半、鳥栖北公民館。なお、当日参加料を持参してください。詳しくは吉村利伸（☎1568）へ。

■鳥栖子ども劇場例会 人形劇団プーク公演

5月13日（木）午後6時半開演、鳥栖勤労者総合福祉センター（基里公民館横）。人形劇「三びきのやぎのがらがらどん」と「ほちぼちいこか」を上演。会費制で月会費1,000円（入会金200円）、当日のみの会費は一人3,200円。詳しくは鳥栖子ども劇場（☎7415）へ。

■鳥栖ジュニアバドミントンクラブ員募集

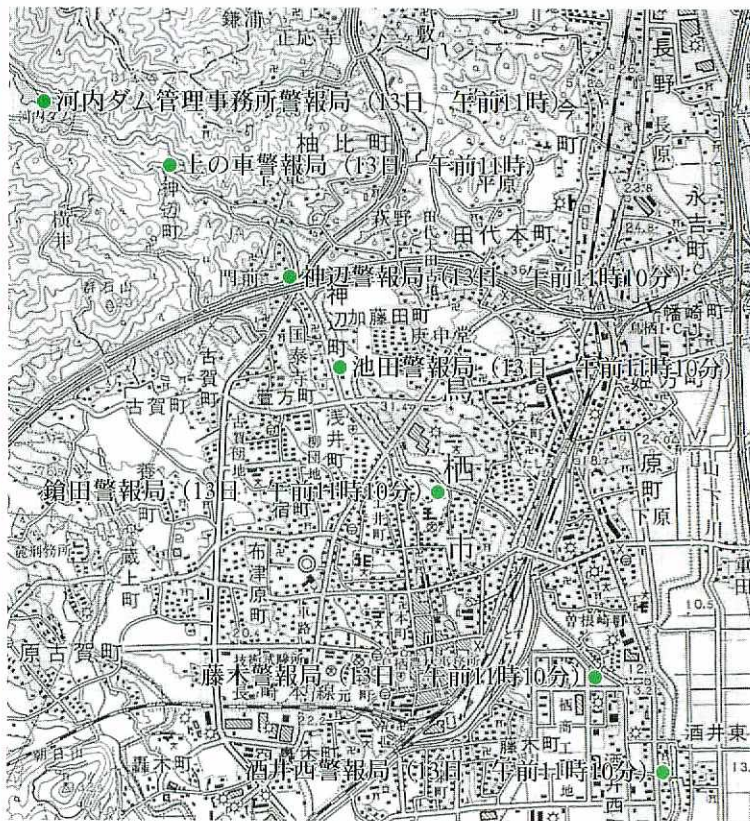
バドミントンに興味のある小学生の男の子・女の子のみなさん、一緒にやってみませんか。練習は毎日午後6時～8時（金曜日は休み）、鳥栖中体育館。詳しくは篠原啓泰（☎3351）へ。

■点字通信講座受講生募集

点訳ボランティア団体・市川点字図書館では、点字通信講座の受講生を募集しています。期間は6月1日から6か月間。講習費は9,800円（練習器、テキスト代など）。申し込みは5月25日までに、はがきで同図書館事務局（〒108-0014 東京都港区芝4-6-7 塚田ビル3階 ☎03-3453-6096）へ。

5月13日（木）午前11時から

河内ダム流域（大木川）で警報訓練



市では、梅雨期の豪雨に備えて、河内ダム管理の万全を図るため、五月十三日（木）の午前十一時から約十五分間、サイレン・スピーカ放送（疑似音）の警報訓練を河内ダム管理事務所と大木川流域の警報局六か所で行います。訓練の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。なお、訓練ですので、ダムと河川の流量に変化はありません。問い合わせは耕地課耕地係（☎3565）へ。

昨年十月に行われた「第四回鳥栖子どもピアノコンクール」の受賞者による記念コンサートが三月二十一日、市民文化会館で開かれました。コンサートではグランプリの

の本山乃弘さん（佐世保市・早岐中三年）をはじめ、幼児から高校三年生までの二十四人が演奏を披露。九州交響楽団の弦楽奏者で結成する福岡室内合奏団との共演も行われ、約八百人の聴衆を魅了しました。

第4回鳥栖子どもピアノコンクール受賞記念コンサート

共演 福岡室内合奏団 主催 鳥栖市、鳥栖市教育委員会、鳥栖子どもピアノコンクール実行委員会



市内からはフツベル賞を受賞した小野原昌弘さん（鳥栖西中一年）と天本三香子（田代中二年）さん、秋山絵里さん（福岡女学院高二）さんが、ベートーヴェンのピアノソナタ「月光」を熱演しました。同コンクールは、市の文化向上と音楽を通して平和の尊さを再認識することを目的に平成七年から毎年開かれています。今年は、八月二十八・二十九日の両日に予選、十月十一日に本選が行われる予定です。

第4回鳥栖子どもピアノコンクール 受賞記念コンサート

高齢者就職情報

高齢者就職相談室（市役所市民課横）では、月曜日から金曜日の午前九時から午後四時まで、高齢者への職業紹介や雇用相談などを行っています。現在、企業から次のような求人申し込みがあります。仕事の内容及び勤務条件など、詳しくは同相談室（☎3556）へ。

- ◎警備員（田代町）：20～60歳、14万8000～14万9千600円
- ◎一般作業員（姫方町）：20～64歳、15万～22万5千円
- ◎溶接工（幸津町）：55～65歳、15万～19万円
- ◎食器洗浄（古野町）：46～65歳、時給6500～7000円
- ◎生鮮食品販売員（轟木町）：50～59歳、時給7500円
- ◎厨房員（基山町）：30～60歳、時給7000～8000円



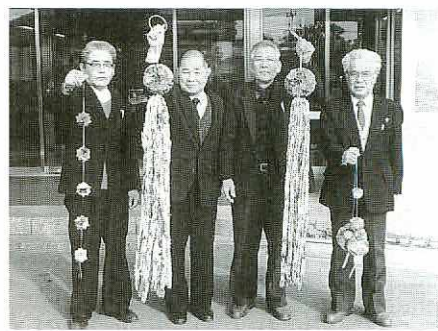
千羽鶴に夢を託して

一九九九年サッカーJリーグ二部（J2）が三月十四日に開幕しました。J2に参戦するのはサガン鳥栖をはじめ十チーム。年間三十六試合（同一チームとの対戦が四試合ずつ）を戦い、上位二チームは自動的にJリーグ一部（J1）に昇格します。今季も見ごたえのあるゲームが期待できます。

鳥栖スタジアムでのホーム開幕戦は、三月二十一日のヴァンフォーレ甲府戦。試合前のセレモニーでは、楚輪監督に千羽鶴が手渡されました。

千羽鶴を贈ったのは、市役所で当直勤務をしている杉岡敬之助さん（68歳、加藤田町）、中嶋重真さん（66歳、桜ヶ丘町）、山木義雄さん（66歳、田代外町）、磯野暢行さん（57歳、宿町）の四人。サガン鳥栖を応援しようとする今年の開幕戦で千羽鶴を渡すことを思い立ち、昨年の夏ごろから準備を開始。広告紙や折り紙を十センチ四方に切り、五か月ほどで、千羽を折りました。四人は「去年より上位を目指しています。Jリーグ一部入りを願っています」とエールを贈りました。

また、サガン鳥栖の中村社長は「み



サガン鳥栖へ激励の千羽鶴を贈った、左から磯野さん、山木さん、中嶋さん、杉岡さん

なさまのおかげでこの日を迎えました。きびしいリーグ戦になることを覚悟の上で、監督、選手、フロントが心を一つにして、目標のAクラス入りを目指して頑張ります。地域活性化のため、サガン鳥栖の支援をよろしくお願います」とあいさつ。井本県知事と牟田市長も駆けつけ、チームへの応援を呼び掛けました。

ホーム開幕戦は四対〇で快勝。新加入選手の活躍や若い選手の成長で攻守ともに安定、第三戦のコンサドーレ札幌、続く大宮アルディージャに連勝しました。大分戦と仙台戦に惜敗したものの、四月十八日現在、三勝三敗で十チーム中五位の成績です。

五月もホームゲームが下記のとおり行われます。みなさんの声援をよろしくお願います。

鳥栖スタジアム試合日程

日	時	対戦チーム
5月2日(日)	13:00	モンテディオ山形
5月9日(日)	13:00	コンサドーレ札幌

中世山城と筑紫氏

Vol.183 筑紫氏の城と領地 その十二

鏡城 鏡城は、勝尾城下町の最前線防備のための城で、安良川を挟んで南の葛籠城に対し、北の山稜（牛原集落の背後）に築かれ、城下町入口を守っています。

この鏡城は記録の上では、「鏡山城」として登場するようです。鏡城は鏡山城の初見は天文二年（一五三三）のことで、周防の大内方と肥前の少貳方との合戦に際し、「少貳が棟と頼みたる、宗筑後守秀垣が鏡山の城をも攻め落とす。これを見て、筑紫四郎惟門、勝尾城を開いて軍門に下る」と記されています。この記録から鏡山

開き撃って出、散々に戦いける……道古、鎮慶南方より横入りにかかり攻め、信清敗れ城内に引き退くを、城を取り巻き攻めければ、信清城の裏手より筑後をさして落ち行き、草野の城へこもるける」と記しています。



鏡城遠景（中央が鏡城）



薬袋一袋分の数の穴があいた計数匙（中富記念くすり博物館収蔵）

穴がたくさん空いている筥かスプーンのようなもので、出来上がった丸薬を薬袋に詰めるときに使う道具です（散薬には別途に計量匙という道具を使います）。

昔、銀行に置いてあった硬貨を数える道具に似ています。材質は初期のころには鼈甲や柘植が使われていましたが、後にはプラスチック製に変化してきました。穴の数がちようど一袋分になっているので、一つ一つ数えるよう

VOL.111 ● 計数匙

消えゆく民具

【売薬用具編】

面倒な作業がいらぬという代物です。中には、紙を貼って穴の数を減らしているものもあります。それは後に薬が値上がりしたときに、一袋分の数を減らすために穴を紙で塞いだものの名残です。

江戸時代には、製薬作業や行商は大抵、大人の仕事として行われていましたが、薬の包装作業は、そのほかの家族の手伝いとして家庭で行われていた仕事でした。

自然と歴史と文化と

―連載開始にあたって―

戦後も半世紀以上が過ぎ、成長をめざした社会から成熟社会へと大きく変わりつつある私たちの社会。価値観の多様化・自由時間の増大のなか、物の豊かさと同時に心の豊かさも求められるようになってきました。と同時に、これまでの「社会教育」も、市民が主体となる「生涯学習」として、内容の転換と充実が求められています。

市民の皆さんが、「鳥栖」とはどんな特性をもった地域なのか、どんな自然環境にあるのか。これまでどんな歴史をたどり、今後どんな鳥栖を築き上げていくのか、などについて考えたり、調べたりする際に必要な資料や情報が求められるようになつてきました。

このような資料や情報を提供するものとして、すぐ思いつづのが「鳥栖市史」ですが、これは昭和四十八年に作られたもので、それ以降、新しい資料や事実もたくさん出てきています。特に、古代から中世にかけては新しい資料が多く蓄積されています。江戸時代以降についても同じです。

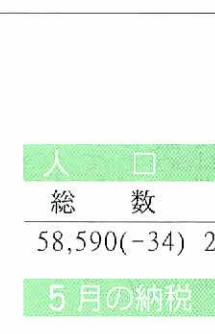
鳥栖地域は、九千部山を主峰とする山ふところに包まれ、山麓下の丘陵地、平野部があり、山あり、丘あり、平野あり…と変化に富んだ地形と、山あいからは多くの河川が流れ出し、豊かな水に恵まれています。山や丘からの展望は素晴らしく、北九州はおろか西・東・南九州まで見渡すことができます。

九州内を東西・南北に走る交通路が鳥栖市内で交差し、さらには、福岡平野と筑後・佐賀平野の結節点にあることから、昔から「交通の要衝」としてこの地域は栄えてきました。現在も、人・文化・物・技術の交流が盛んな地域です。

交通の便に恵まれ、自然が豊かな鳥栖市は、史跡や文化財の宝庫となっており、古代の生活や文化をよみがえらせる密度の高い埋蔵文化財、地の利を生かした中世の山城群、近世の雰囲気をもつ長崎街道、近代以降は九州一のヤードをもつた鉄道の町、そして現在の交通要衝の象徴である東洋一のクローバー型のジャンクションなどがみられ、自然と歴史と文化が現代につながり息づいています。

今号以降は「とす学事始め」として、鳥栖地域の地理・自然や史跡・文化財あるいは民俗などの新しい資料や事実について、市民の皆さんに情報提供していきたいと考えております。ご期待ください。

郵便局発行「長崎街道はがき」から長崎街道・田代追分石



長崎街道・田代宿 鳥栖市



鳥栖は、変化に富んだ地形と豊富な水に恵まれ、昔から交通の要衝として栄えてきました

鳥栖地域は、九千部山を主峰とする山ふところに包まれ、山麓下の丘陵地、平野部があり、山あり、丘あり、平野あり…と変化に富んだ地形と、山あいからは多くの河川が流れ出し、豊かな水に恵まれています。山や丘からの展望は素晴らしく、北九州はおろか西・東・南九州まで見渡すことができます。

今号以降は「とす学事始め」として、鳥栖地域の地理・自然や史跡・文化財あるいは民俗などの新しい資料や事実について、市民の皆さんに情報提供していきたいと考えております。ご期待ください。

DISCOVER TOSU Vol.38

ふるさと再発見

―とす学事始め―



市の木もちのき (クロガネモチ)
市の花 ハナショウブ
市の鳥メジロ

人 口	平成11年4月1日現在			() 内は前月比
総 数	男	女	世帯数	
58,590	28,249	30,341	19,711	
	(-34)	(-26)	(-8)	

5月の納税
軽自動車税(全期分) 納期限●5月31日

水道の修繕
鳥栖市管工事協同組合 ☎84-2500
●水道の修繕はすべて上記へお申し込みください

市報とす

毎月1日・15日発行
(市報とすは再生紙を使用しています)

編集発行●鳥栖市総務部企画課広報統計係

〒841-8511 佐賀県鳥栖市宿町二二八番地
TEL 853-3513
FAX 853-1994